NISSIN DIGITAL

SPEEDLITE Di622

キヤノン製EOSデジタル一眼レフカメラ用
ニコン製 デジタル一眼レフカメラ用

取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

NISSIN SPEEDLITE Di622※をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

※SPEEDLITE Di622は製品名です。

Di622は、

- キヤノン製EOSデジタル一眼レフカメラの**E-TTL II**※1および**E-TTL**※1自動調光システム
- ニコン製デジタル一眼レフカメラの**i-TTL**※2自動調光システム

に対応するデジタルストロボです。

※1.キヤノン独自の調光方式で、精度の高い安定した調光を行います。
※2.ニコン独自の調光方式で、精度の高い安定した調光を行います。

キヤノンEOSデジタル一眼レフカメラ、または、ニコン製デジタル一眼レフカメラに装着するだけで、カメラからの通信により自動的に光をコントロールすることができます。
また、本機はインテリジェント・デジタルスレーブ（後述）を搭載しており、カメラから離れた場所でシンクロさせることができます。リモートで使用できますので、ライティングの幅を大きく広げることができます。

ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しくご使用いただきますようお願いします。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。

⚠ 警告

- 本機は高電圧の部品を使用していますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社サービスステーションかまたは、ご購入されたお店にお持ちください。
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

⚠ 注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。

⚠ その他の注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

- SPEEDLITE Di622キヤノン製EOSデジタル一眼レフカメラ用は、下記のカメラに適合します。

EOS Kiss Digital, N, X, X2, F
EOS 20D, EOS 30D, EOS40D, EOS 5D

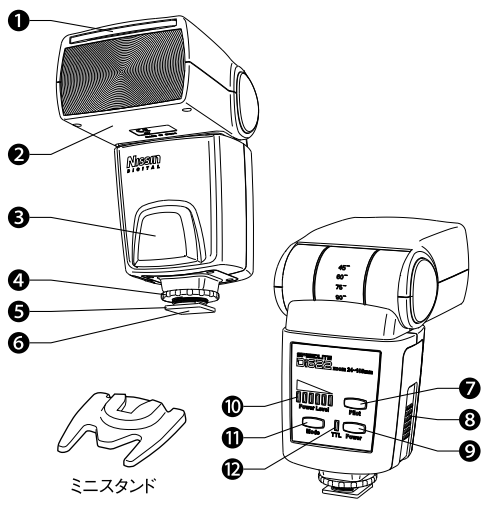
- SPEEDLITE Di622ニコン製デジタル一眼レフカメラ用は、下記のカメラに適合します。

ニコン D40, D50, D60, D70, D70s, D80, D200, D300

（平成20年7月現在）

※上記以外のデジタル一眼レフカメラは、一部またはすべての機能が適合しないか、あるいは動作未確認となります。最新の情報を、弊社ホームページでご覧になるか、または、弊社へ直接ご連絡をお願いします。
※フィルム一眼レフカメラでは正常に機能しませんのでご注意ください。

■各部名称



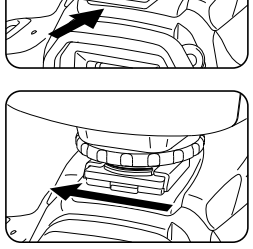
❶ ワイドパネル（16mm相当）／キャッチライトパネル
❷ 発光部
❸ オートフォーカス補助光/スレーブセンサー
❹ ロックリング
❺ 取り付け足
❻ シュー接点ピン、ロックピン
❼ パイロットランプ（テスト発光ボタン）
❽ 電池カバー
❾ 電源ボタン
❿ パワーレベル表示ランプ（6 LED）
⓫ モード切替ボタン（AUTO – MANUAL）
⓬ TTL／スタンバイ ランプ

付属品: ミニスタンド、ポーチ

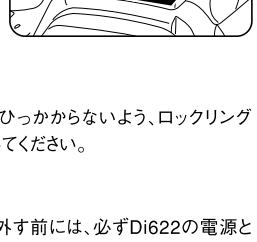
■基本操作

注意 ストロボ発光部の発熱や劣化を防止するため、連続発光は20回までに抑えてください。また、20回連続発光したあとは、10分以上休止してください。

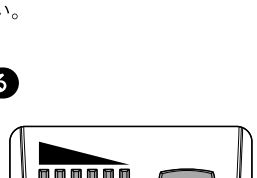
電池の挿入



- 電池カバーを下にスライドして開きます。
- 電池ボックス内の図に従って、プラス/マイナスの向きを正しく挿入してください。



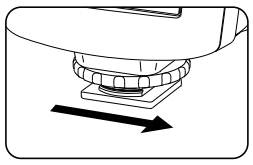
- 電池カバーを上にスライドして閉めてください。



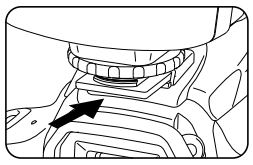
注意

- 間違った挿入を行ったり、サイズの異なる電池を入れたりすると本機が破損する恐れがあります。
- すべて同じ銘柄の新品の電池をご使用ください。電池の交換は4本同時に行ってください。
- 単3形ニッカド電池、ニッケル水素電池、リチウム電池もご使用できます。
- PANASONIC製単3形オキシライド乾電池もご使用できます。ただし、指定回数以上の連続発光を行わないようご注意ください。
- 使用しない時は電池を抜いて保管してください。

カメラへの装着



- 図のようにロックリングをまわして、緩めます。



- ロックリングを押しながら、Di622の取り付け足をカメラのホットシューにしっかり差し込みます。

- ロックリングを図のようにまわし、カメラに固定します。ロックピンにより、しっかり固定されていることをご確認下さい。

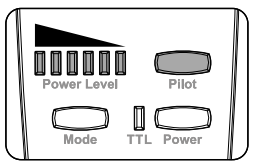
カメラから取り外す

- ロックピンがホットシューにひっかからないよう、ロックリングを十分に緩めてから取り外してください。

注意

- Di622を装着する前や取り外す前には、必ずDi622の電源とカメラの電源を切ってください。

ストロボの電源を入れる



- 電源ボタンを押すと電源が入ります。電源が入ると、背面操作パネルのすべてのランプが一時点灯し、**【TTL】**ランプ以外のランプは消えます。
- 数秒後に緑の**【Pilot】**ランプが点灯すると、ストロボ撮影可能になります。
- テストのため、**【Pilot】**ランプを押してテスト発光してください。
- フラッシュを使用しないときは、電源ボタンを約3秒間押すと電源が切れます。

スタンバイモード

電池の消耗を防ぐために、カメラがオートパワーオフ状態になってから約2分後に、自動的にスタンバイモードに入ります。スタンバイモードのときは、**【TTL】**ランプが、2～3秒間隔で点滅します。
Di622のボタンを操作するか、または、カメラを半押しするとスタンバイモードから復帰します。
なお、スタンバイモードに入って30分経過するとDi622は、オートパワーオフにより完全に停止します。この状態から再びDi622を起動させる場合は、電源を入れなおしてください。

全自動ストロボ撮影 キヤノン用のみ

Di622は、カメラの撮影モードが［□］、［**P**］、［**AV**］、［**TV**］、［**M**］の時に、**E-TTL II**／**E-TTL**自動調光ストロボ撮影を行うことができます。

- **【Mode】**ボタンを押して、**【TTL】**ランプを点灯させます。
- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
- カメラのファインダー内の（フラッシュマーク）点灯を確認。
- シャッターを押すとストロボ撮影ができます。
- 焦点距離を変更すると、ストロボの照射角も連動して最適な角度に自動調整します。

全自動ストロボ撮影 ニコン用のみ

Di622は、カメラの撮影モードが［AUTO］（フルオート）、［**P**］、［**A**］、［**S**］、［**M**］の時に、**i-TTL**自動調光ストロボ撮影を行うことができます。

- **【Mode】**ボタンを押して、**【TTL】**ランプを点灯させます。
- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
- カメラのファインダー内の（フラッシュマーク）点灯を確認。
- シャッターを押すとストロボ撮影ができます。
- 焦点距離を変更すると、ストロボの照射角も連動して最適な角度に自動調整します。

参考

●ストロボの照射角について

照射角は24mm相当から105mm相当まで連動します。24mm相当より広角の焦点距離をご使用の場合は、内蔵ワイドパネル（16mm相当）をご利用ください。105mm相当より望遠側の焦点距離をご使用の場合は、105mm相当の照射角でカバーできます。

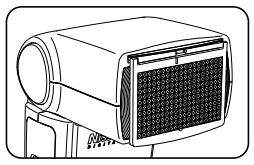
※照射角は、便宜上35mmフィルム用レンズの焦点距離を基準にしています。

●撮影距離について

ストロボを使用しても撮影画像が暗い場合は、被写体に近づいて撮影するかまたは、カメラのISO感度を上げてください。

■ストロボ撮影をより楽しむために

ワイドパネル



●内蔵のワイドパネルを引き出して、図のように発光部の前に被せると、16mm相当の撮影画角に対応できます。
●同時にキャッチライトパネルが引き出されますが、キャッチライトパネルは、押し戻してください。

注意 バウンス使用時には、ワイドパネルを収納してください。

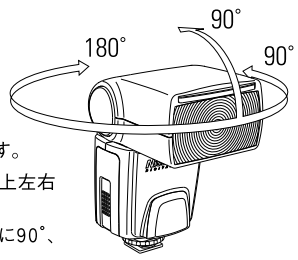
参考 ワイドパネルは光を拡散させる効果もありますので、ストロボ光をソフトにしたいときなどにもご利用できます。

キャッチライトパネル

バウンス撮影時、近距離でキャッチライトパネルを使用すると、被写体の人物の目に光が差し込み、表情が明るくなります。

●ワイドパネルを引き出すとキャッチライトパネルも一緒に引き出されますので、ワイドパネルを押し戻してください。
●キャッチライトパネル使用時は、上方90°にバウンスさせてください。

バウンス



主に屋内で、天井や壁などにストロボ光を反射させてバウンス撮影を行うと、被写体の不自然な影を和らげ、自然な感じになります。

●フラッシュヘッドを手動で上左右方向に向きを変えます。
●ヘッドは、上方に90°、左に90°、右に180°回転します。

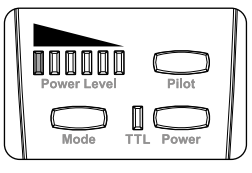
注意

●バウンス時、照射角は50mm相当に固定されます。
●天井、壁までの距離が離れているときは、ストロボ光が十分に反射せず、効果を得られない場合があります。
●天井や、壁の色が白でない場合は、反射光が影響を受けて着色する場合があります。
●バウンス時は、光が減衰します。効果が十分得られない場合は、カメラのISO感度を上げて撮影を行ってください。

調光補正

カメラ側に調光補正機能がある場合は、カメラの操作により、ストロボの調光補正を行うことができます。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。

マニュアル発光



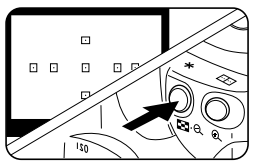
自動調光による露出では、自分の意図する露出が得られないとき、マニュアル発光により、任意の発光量を設定することができます。発光量は、1/1から1/32まで、1EVステップで設定できます。

●【Mode】ボタンを押し、【Power Level】ランプの任意のレベルを点灯させます。
●パワーレベルは、左から順に小さくなります。
1/1（FULL）- 1/2 - 1/4 - 1/8 - 1/16 - 1/32

オートフォーカス補助光

低コントラストの被写体や、暗所で撮影を行う場合、オートフォーカス補助光を被写体に自動的に照射し、合焦しやすくします。
照射された赤色光は、撮影画像には写りません。

FEロック キヤノン用のみ

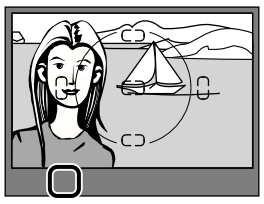


背景と被写体の明るさが極端に異なる場合や、被写体が画面の中央部から外れているときなど、ストロボの自動調光が意図しない露光量に設定されることがあります。そのような時は、FEロックにより任意の部分の露出に合わせて調光させることができます。

●被写体にピントを合わせます。
●被写体を中央に置き、カメラの【✱】ボタン（または、FELボタン）を押します。
●プリ発光を行い露光量が記憶され、ファインダー内に【✱】マークが点灯します。
●撮影アングルを決め、シャッターを押します。

注意 FELは、P、Av、Tv、M、A-Depモードで機能します。

FVロック ニコン用のみ



背景と被写体の明るさが極端に異なる場合や、被写体が画面の中央部から外れているときなど、ストロボの自動調光が意図しない露光量に設定されることがあります。そのような時は、FVロックにより任意の部分の露出に合わせて調光させることができます。

FVロック機能を使用するには、FVロック機能を持つカメラを使用します。

●シャッターを半押しして、被写体にピントを合わせロックします。そのまま、撮影アングルを決め、シャッターを押します。

その他の機能 ニコン用のみ

スローシンクロ

被写体と背景を両方とも適正露出で撮影するために、スローシャッターで、フラッシュ発光させることが出来ます。詳しくは、カメラの使用説明書をご覧ください。

赤目軽減発光

撮影したときに被写体の目が赤くなる現象を防ぐために、Di622は赤目軽減発光を行うことが出来ます。カメラを赤目軽減発光モードにセットしてご使用ください。

赤目軽減発光＋スローシンクロ

赤目軽減発光とスローシンクロは、組み合わせてご使用することが出来ます。詳しくは、カメラの使用説明書をご覧ください。

後幕シンクロ

通常は、カメラのシャッター幕が開いた瞬間にストロボが発光する先幕シンクロによる発光を行いますが、カメラを後幕シンクロに設定すると、シャッター幕が閉じる直前にストロボ発光することが出来ます。これにより、動いている被写体の軌跡を自然に表現することが出来ます。

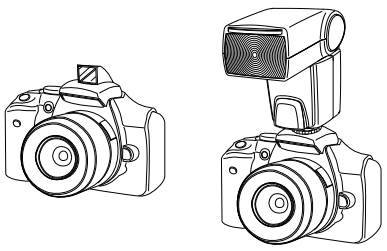
インテリジェント・デジタルスレーブ

Di622は、
●EOSデジタル一眼レフカメラのプリ発光を伴ったE-TTL II / E-TTL自動調光システムにワイヤレス同調するインテリジェント・デジタルスレーブ機能
●ニコンデジタル一眼レフカメラのプリ発光を伴ったi-TTL自動調光システムにワイヤレス同調するインテリジェント・デジタルスレーブ機能

が搭載されています。
この機能は、マルチライティングによるクリエイティブなストロボ撮影を可能にします。
Di622は、カメラの内蔵ストロボやカメラに搭載されたマスターストロボ（Di622またはメーカーストロボ）の発光をスレーブセンサーで受光し、ワイヤレス同調します。

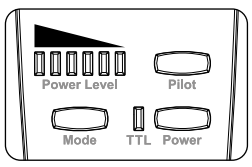
■マスターストロボの設定

マスターストロボをカメラに装着し、電源を入れます。内蔵ストロボの場合は、ポップアップして、発光可能な状態にします。



■Di622の設定（スレーブ）

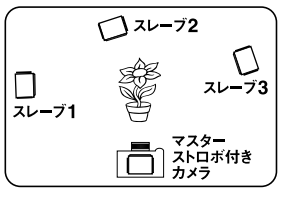
Di622の【Mode】ボタンを3秒以上押し続けると、すべてのLEDが一時点灯し、スレーブモードに切り替わり、FULL（1/1）のLEDランプが1秒ごとに点滅し始めます。
【Mode】ボタンを押し、任意の発光レベルを選んでください。
通常発光（デフォルト）モードに切り替えるときは、【Mode】ボタンを3秒間押し続けてください。



※デジタルスレーブのとき【TTL】モードは選べません。
※ストロボ前面の赤パネルの中のスレーブセンサーがマスターストロボの発光を受けられるように向きを調整してください。

■撮影方法

カメラをストロボ発光モードにセットし、撮影します。
スレーブストロボ（Di622）は、マスターストロボに同調し、任意の方向から被写体に対し発光します。
発光量は【Mode】ボタンを押して、1/1から1/32まで、6段階に設定できます。
被写体の周辺に設置できるストロボの数に制限はありません。



※なお、デジタルスレーブ時は、60分後にオートパワーオフとなります。
※デジタルスレーブ時は、照射角は35mm相当に固定されます。

■主な仕様

使用カメラ	キヤノン製 EOS デジタル一眼レフカメラ	ニコン製 デジタル一眼レフカメラ
ガイドナンバー	62（ISO200、照射角105mm相当のとき） 44（ISO100、照射角105mm相当のとき）	
照射角	24-105mm 相当（内蔵ワイドパネル使用時16mm相当） オートパワーズームによりレンズ焦点距離に自動で連動	
電源	単3形アルカリ乾電池4本使用（電池別売） ※単3形ニッケル水素電池、単3形リチウム電池、単3形オキシライド乾電池使用可能	
発光回数	200～1500回（アルカリ乾電池の場合） ※使用モードにより異なります。	
節電機能	カメラがオートパワーオフになってから約2分後にスタンバイモード。スタンバイモードから30分後に電源OFF。 デジタルスレーブ時に、無操作から60分後に電源OFF	
充電時間	約4秒（オキシライド乾電池、ニッケル水素電池） 約4.7秒（アルカリ乾電池）	
調光方式	E-TTL II / E-TTL / マニュアル	i-TTL / マニュアル
ロック方式	**FEロック** 【FEL】または【✱】ボタンによる	**FVロック** カメラの設定による
AF補助光	有効距離 0.7～6m	
色温度	5600K	
閃光時間	1/800秒（フル発光時） 1/800～1/20,000秒（TTL時）	
ワイヤレス発光	インテリジェント・デジタルスレーブ（6発光レベル）	
大きさ	77 X 130 X 103 mm	
質量	315 g（電池除く）	

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

■ガイドナンバーテーブル（ISO 100）

焦点距離	パワーレベル					
	Full	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32
24mm	25	18	12.7	9	6.4	4 5
28mm	28	20	14	10	7	5
35mm	32	22	16	11	7.8	5.5
50mm	35	25	18	12.7	9	6.4
70mm	38	27	19	13 5	9.5	6.7
85mm	41	29	20	14	10	7
105mm	44	31	22	16	11	8

■トラブルシューティング

ストロボがチャージしない。
●電池の向きを確かめて、逆向きになっている場合は、正しく挿入してください。
●電池が消耗していないか確認して、消耗している場合は、新しい電池を入れてください。

ストロボが発光しない。
●ストロボがカメラにしっかり固定されてない場合は、奥までしっかり装着して、ロックリングで固定してください。
●ホットシュー接点が汚れている場合は、接点を乾いた布で拭いてください。
●オートパワーオフ機能により電源OFFになっている場合は、電源を入れなおしてください。

写真が露出オーバーまたは、アンダーになる。
●被写体の近くに反射物などがあって、正常に調光されない場合は、FEロック機能を使用してください。
●モードを確認してマニュアルモードになっている場合は、＜TTL＞モードに設定してください。

電源が切れない。
●スリープ時に電源ボタンを押してもOFFになりません。一度ボタンを押して、通常モードに復帰してから電源ボタンを約3秒押すとOFFになります。

★最新カメラへのファームウェアアップデート サービス（有償）やファームウェア対応状況に関するお問い合わせは、ニッシンホームページ、または、お問い合わせ窓口をご利用ください。

ホームページ：nissin-japan.com
TEL：03-5336-4712